

~ HIBIKI ~ 響

二人展 / 花たちが奏でる空間



2014. 8/7(木) ~ 8/12(火)



Taiji Ueno



* International Teacher of Floristry
(世界 10 数ヶ国で受講されている、ドイツのトップフローラルデザイナー グレゴール・レルシュによる認定講座修了者。造形理論とテクニック、発想を創造に繋げる方法を学びます。

修了者は各国メンバーとともに活動)

- * N F D 本部講師
- * 花阿彌プロフェッショナルインストラクター
- * 日本プリザーブドフラワー認定協会講師 .e 講師

静岡、大阪、東京にてスクール活動を行う。
デザイン研究を傍らデザイン向上の為、展示会やコンペティションなどに参加。

2011 年 日本フラワーデザイン大賞の文部科学大臣賞受賞。
2013,14 年 ドイツエッセンで行われる「IPM」にて作品披露。

常に向上心を持つ気持ちを持ち続けることの大切さを感じて。

Reiko Tsumita



- * 日本プリザーブドフラワー認定協会 .e 理事
- * Marie Style・la-marie president designer
- * (社) 日本フラワーデザイナー協会本部講師・審査員
- * (社) 日本フラワーデザイナー協会ウェディングインストラクター
- 一級フラワー装飾技能士・同職業訓練指導員・審査員
- * 花阿彌プロフェッショナルインストラクター
- * グレゴール・レルシュ International Teacher
- * 株式会社 プリスクリエイト (花材問屋) designer
- * アップルツリー (輸入資材) chif designer
- * 日本家庭園芸普及協会 designer
- * Co.,Ltd Lien ~ (株)リアン ~ designer
- * Co.,Ltd Marie ~ (有)マリエ ~ designer

イベントディスプレイ、資材問屋の資材開発プロデュース
プリザーブドフラワー部門では全国に 70 校の認定校
各地で講習会を行う。

今回の展覧会は植野泰治さんと積田玲子さんによる、フラワーデザインの2人展です。会場には生花やプリザーブドフラワーを使って作られた作品がずらりと並び、華やかで迫力のある空間になりました。画廊入り口から右側が積田さん、そして左側が植野さんの作品となっております。中央には2人の作品が並んで展示されました。

植野さんの作品は、木やワイヤーや鉄などのさまざまな素材を使って作られたベースにお花を効果的に生けられています。それは、空中に流れるような形をしていたり、ひとつの塊のように見えたりと、様々な造形と表現のバリエーションがありました。花を全体的に飾るのではなく、ポイントで飾ることで作品の中に流れや見せ場をつくられていて、エネルギーや力強さを感じられる作品でした。

積田さんの作品は、白やピンク、明るい緑などの草花をメインに使った、女性らしい優しい雰囲気作品です。プリザーブドフラワーを使った壁掛け作品と生花を使ったアート作品の2種類があります。生花を使った作品の中には葛きりや岩塩などの天然素材を使用して作られたものもあり、作り手の発想力と素材の面白さを感じることが出来ます。様々な角度からフラワーデザインを手がけられている積田さんの作品には、全ての作品に共通した統一感があり、完成度が高い、美しい作品でした。

今までお花というと花器に挿すだけというイメージでしたが、今回の展覧会を見て花の飾りかたやフラワーデザインは無限にあり、普段私達が目にするアート作品と変わることがわかりました。これからのように発展していくのか、これからのフラワーデザインの可能性が感じられる、興味深い展覧会でした。

